

Web 作成 classroom

取扱説明書



1. 教材の趣旨と概要

Swift Playgrounds は、iOS や iPadOS、MacOS の標準プログラミング言語「Swift」をビギナーからプロフェッショナルまでカバーして学習、プロトタイピングできる優れたツールです。

プログラミング教育に取り組んでいる学校では、特定の言語ではなく、インターネットの共通言語になっている HTML や JavaScript を使って学習する場面も見かけます。

そこで、Swift Playgrounds の優れた特性を生かして、HTML、CSS、JavaScript を学ぶコースに仕上げたのが本ブックです。

クラスルーム内の指導・助言に役立てられるよう、学習過程の状況が指導者のブックに届けられるようになっています。

短期間に、HTML の特徴や CSS、JavaScript の役割を体験的に学ぶ事ができるように工夫した内容になっています。もし、興味をもった方が見えたら、次の段階としては HTML コードをテキストエディタで作成し、Safari などの Web ブラウザで表示してみるなど、本格的な Web ページの作成に取り組んでみてください。

2. 🏫 クラスルーム機能の使い方

本ブックには、クラスルームで、学習者と指導者が進捗状況を共有するための機能が含まれています。この機能を利用するためには、教室の通信環境に合わせた設定を、「クラスルーム」チャプターで行う必要があります。指導者が設定した後でブックを学習者に配布すれば、学習者側の設定は最小限になります。

2.1 ⚙️ スクール設定

「スクール設定」ページは、指導者が設定するためのものです。

スクール ID、Web モード、teacher モードの 3 つの設定項目があり、プログラムコードを実行する事で保存されます。

スクール ID

schoolID	制作会社から発行される、学校を識別するための ID です。 正しい ID の設定がなければ学習状況は表示されません。
-----------------	---

Web モード

webMode	外部サーバーで進捗状況のメッセージの中継を行うためには、この設定を On にします。教室内の Wi-Fi 環境のみで学習状況のメッセージ伝達を行う場合には Off にします。 キャリア通信のみの教室では On にする必要があります。
----------------	---

teacher モード

teacherMode	このモードを On にすると、👩🎓 学習状況ページで、進捗が表示され、学習者からの進捗メッセージを受信できます。 Off にすると、進捗画面が非表示になり、メッセージは受信しません。SchoolID、webMode の設定内容を問わず、学習者に配布するブックは、Off の設定にしてください。
--------------------	---

これらの設定は、コードの実行で行うようになっています。プログラムコードを編集して設定値変更後に [▶コードを実行] ボタンで設定を保存してください。

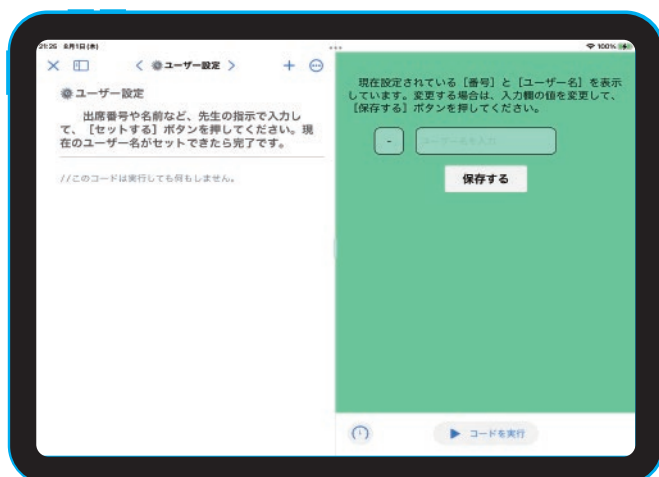
このページのプログラムコードを削除してから学習者にブックを配布すれば、学習者側で設定を変更する事ができなくなります。

2.2 ユーザー設定

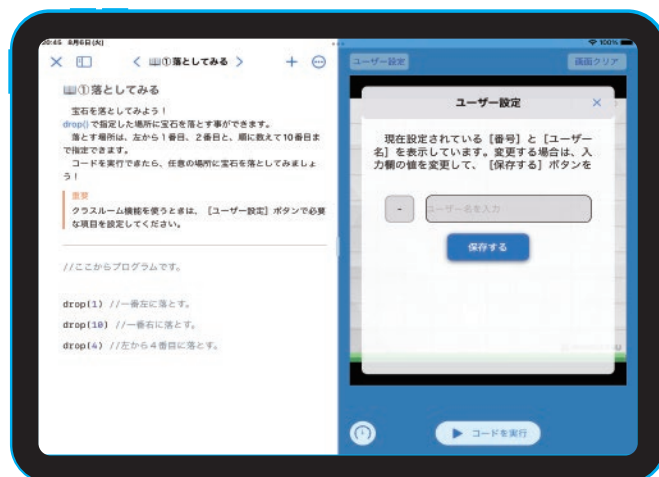
「ユーザー設定」ページには、学習者が番号と指名を登録できるビューが表示されます。

設定項目は、「番号」と「ユーザー名」の2つです。表示されているビューの番号欄と、ユーザー名欄に、学習者が自分を区別するための値を入力し、[保存する] ボタンを押して保存します。保存した値は、別ページに移動したり、ブックを閉じてでも残ります。

このユーザー設定は、宝石をドロップする全てのページにある[ユーザー設定] ボタンを押す事で呼び出す事もできます。



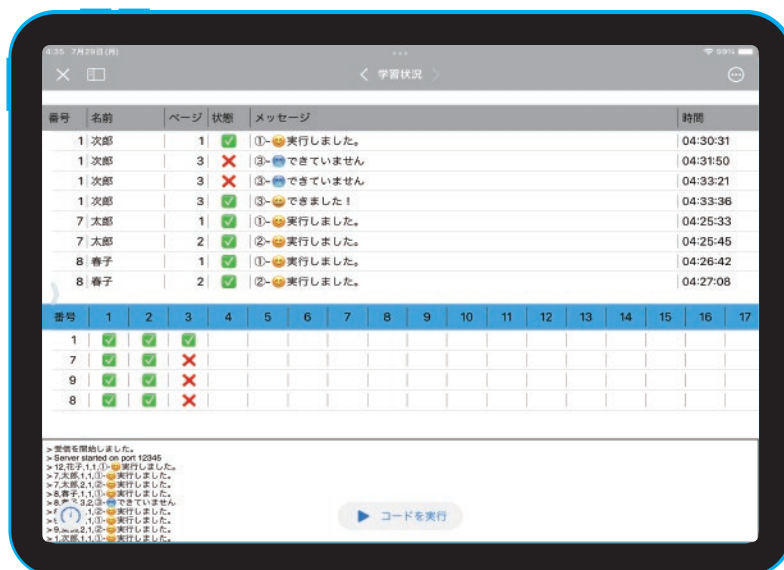
ユーザー設定画面



宝石ドロップページの[ユーザー設定] ボタン

2.3 学習状況

teacher モードが On になっていて、スクール ID の認証※が成功すると、学習状況が表示されます。ページの上段には受信メッセージの表示、下段には番号別の実行状況が表示されます。



学習状況画面

※スクール ID の認証はページを開いた際にインターネットを通じて行われます。インターネット接続できない環境では認証ができません。